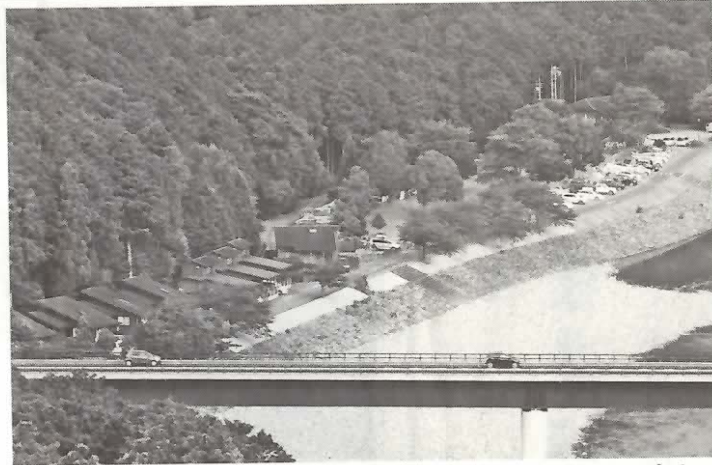


利用増で過去最高利益

2013
年度実績 キャンプイン海山



2013年度は過去最高の利益を計上した町営キャンプイン海山。手前は紀勢自動車道(紀北町海山区便ノ山で)

紀北町商工観光課は、海山区便ノ山の町営オートキャンプ場「キャンプイン海山」の2013(平成25)年度の利用実績をまとめた。昨年は7月にBS朝日で「清流銚子川」の2時間特別番組の全国放送で知名度が上がり、夏休みは好天にも恵まれ、高速道路の延伸、伊勢神宮式年遷宮

効果などで利用者数、収入、利益いずれも1998(平成10)年のオープン以来、過去最高となった。利用者数は日帰りデイキャンプなども含め2万5936人で、前年度に比べ4586人(21.5%)と大幅に増加した。収入は前年度に比べ74.6万円(19.8%)増の452.2万円。支出は59.2万円(18.4%)増の380.1万円。収支は前年度に比べ15.5万円(27.4%)増の72.1万円の黒字となった。過去最高益だった11(平成23)年度を62万円(9.4%)上回った。黒字は1998(平成10)年度のオープン2年後の2000年度から連続14年。収入のほとんどはコテージやキャンプサイトの利用料。支出は指定管理者のNPO法人ふるさと企画舎(田上至理事長)への指定管理料2500万円と、前年度のほぼ2倍の報酬費106.5万円、修繕費86万円、需要費84万円、保険などの役務費23万円、テレビなど備品購入費約38万円。報酬費は収入が3千万円を超えた額の70%を同NPOに支払っている。利益は2010年度48.9万円、11年度65.9万円、12年度56.6万円。施設は敷地約3万5千平方メートルに管理棟(セクターハウス)1棟、コテージ15棟(5人用8棟、6人用5棟、8人用2棟)、リバーオートキャンプサイト39区画、林間オートサイト31区画、炭火焼きハウスや炊事棟、トイレ棟、木工アート広場1棟、芝生広場など。ふるさと企画舎の従業員は12人で正社員2人、パート10人。田上理事長は「NPOとしても黒字を計上。夏だけでなく秋、冬にかけて食のイベントなどの実施で年に数回利用する固定客の増加が収益につながり、これまでの努力が実ってきた。清流銚子川の認知と高速道路の延伸効果で中部、関西に加え関東方面からの利用客も増えている。現在体制を維持して運営に力を入れていきたい」と話していた。

収入のほとんどはコテージやキャンプサイトの利用料。支出は指定管理者のNPO法人ふるさと企画舎(田上至理事長)への指定管理料2500万円と、前年度のほぼ2倍の報酬費106.5万円、修繕費86万円、需要費84万円、保険などの役務費23万円、テレビなど備品購入費約38万円。報酬費は収入が3千万円を超えた額の70%を同NPOに支払っている。

キャンプ場は2007年度から同NPOが指定管理者となっている。